

宮城県版

保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて 〈資料編〉

1 カリキュラム作成の視点 1P

2 カリキュラム作成の視点と具体例 2P

3 アプローチカリキュラム例 3P

4 スタートカリキュラム例 4P



5 保幼小接続期カレンダー 5P

6 指導要領等における保幼小の接続に関する記載 7P

7 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 9P

8 県内の取組紹介 10P



保幼小接続期カリキュラム作成の視点やカリキュラム例を掲載した資料集を作成しました。活用にあたっては、それぞれの保育や教育の実情に合わせて工夫をしてください。また、保幼小接続期カリキュラムを作成し、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校、教育委員会が連携して実践している地域の取組事例も掲載しましたので参考にしてください。

平成31年3月

宮城県教育委員会

1 カリキュラム作成の視点



保幼小接続期カリキュラムを作成するときには、以下の3つの視点を持って考えると整理しやすく、活動自体もバランス良くなると思われます。

【視点1】

生活をつなぐ

乳幼児期からの遊びや生活経験を基に、これまでの気付きや学びが小学校入学後の学習や生活に活かされるようになる。また、身辺処理も自立に向かってますます意欲的になる。

【視点2】

人をつなぐ

友達や大人との触れ合いを通して他者意識が芽生え、よりよく関わろうとする意欲が出てくるようになる。また、小学校や児童、教諭の存在を身近に感じるようになる。

【視点3】

学びをつなぐ

小学校に対する全体像を目や心で感じることで安心感を持つようになる。また、知りたいことや見たいことなど、多くのことに興味・関心を示し、自分で調べたり、周囲の大人に聞いたりするようになる。

2 カリキュラム作成の視点と具体例

幼児期の保育や教育が、小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしてみましょう。

入学してきた児童が、幼児期にどのような経験をしてきたのかイメージしてみましょう。

保育所 幼稚園 認定こども園等

小学校

「歩き方を考えよう」
建物の廊下や階段、道路を正しく歩く。

「お昼の準備をしよう」
衛生や安全に気を付けながら食事の準備や片付けをする。

「お手紙の交換をしよう」
小学生と絵や手紙の交換を行い、小学生を身近に感じる。

「家族に聞いてみよう」
知りたいことを家族に聞き、それをみんなに伝える。

「かるた遊びをしよう」
かるた遊びを通して文字に関心を持つ。

「虫探しをしよう」
見つけたい虫が、どんな場所にいるのか予想をしながら、園庭で虫探しをする。



【視点1】

生活をつなぐ

【視点2】

人をつなぐ

【視点3】

学びをつなぐ

「交通教室」
正しい歩行や道路の横断について実地訓練を行う。

「給食を食べよう」
準備や片付けの仕方を理解し、自分たちで配膳をする。

「紹介しよう」
家族や友達を紹介する作文を書き、家族や友達の良さに気付く。

「友達に説明しよう」
自分の考えや気付いたことを友達に伝える工夫をする。

「平仮名を覚えよう」
平仮名の書き方を覚えて言葉や短い文章を書く。

「季節を感じよう」
校庭や近くの公園に行き、動植物の観察を通して、季節の移り変わりに気付く。

就学前には、円滑な移行を目指し、このページに例示してあるような小学校生活へ直結する活動も取り入れるなどの工夫をしてみましょう。

また、小学校入学直後は、児童の思いや発達段階を考慮し、過度な負担とならないような配慮も必要です。

3 アプローチカリキュラム例

①主な時期 10月から3月

②活動計画例

	生活をつなぐ	人をつなぐ	学びをつなぐ
10月	「歩き方を考えよう」 ・廊下や階段の正しい歩き方について考え、実践しようとする。	「みんなのためになることをしよう」 ・クラスの中で係を考え、みんなのために行動しようとする。	「虫探しをしよう」 ・どんな虫が、どんな場所にいるのか予想をしながら園庭で虫探しをする。
11月	「お昼の準備をしよう」 ・安全に気を付けながら、椅子やテーブルの準備、飲み物の配達等ができるようになる。	「小学生と遊ぼう」 ・小学生と一緒に遊び児童に親しみを持つようになる。	「絵本を見よう」 ・絵本の読み聞かせを通して、図形や標識、文字等に関心を持つようになる。
12月	「うがいや手洗いをしよう」 ・うがいや手洗いが風邪の予防になることを理解して実践するようになる。	「お手紙の交換をしよう」 ・小学生と絵や手紙の交換を行い、小学生を身近に感じるようになる。	「数えてみよう」 ・テーブルや椅子等の準備をする際には、保育者と一緒に10までの数を数えようとする。
1月	「自分で整えよう」 ・季節や場に応じた衣服の調節やたたむことなど、自分でできるようになる。	「誘って遊ぼう」 ・雪遊び等の際には、周囲の仲間を誘い、楽しく遊ぶようになる。	「かるた遊びをしよう」 ・かるた遊びを通して文字に関心を持つようになる。
2月	「みんなで出かけよう」 ・園外保育では交通ルールを守り、安全に自ら気を付けるようになる。	「小学校の先生に聞こう」 ・対話をしたり、触れ合ったりすることで、入学を楽しみに待つようになる。	「家族に聞いてみよう」 ・家族に小学校の様子を聞き、みんなに伝え、入学を楽しみに待つようになる。
3月	「掃除をしよう」 ・自分のロッカーや室内、下駄箱等、自分が使っている場所の掃除を自ら行うようになる。	「卒園（所）に向けて」 ・卒園（所）に当たり、友達やお世話になった人に感謝の気持ちを持つようになる。	「小学校の話进行しよう」 ・小学校生活への期待等、思っていることをみんなの前で話したり、質問したりする。

この活動はほんの一部の活動例を提示したものです。普段の保育で取り組んでいる内容もあるのではないのでしょうか。接続をキーワードに普段の保育や教育を振り返ってみましょう。活動の時期や内容については、あくまで幼児の実態や環境構成で大きく変わります。ぜひそれぞれの保育所、幼稚園、認定こども園等でオリジナルの活動を工夫してみてください。

4 スタートカリキュラム例

①主な時期 4月から7月

②活動計画例

	生活をつなぐ	人をつなぐ	学びをつなぐ
4月	<p>「学校探検」(生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内を探検することを通し、校内の施設や働く職員を知る。 <p>「給食を食べよう」(学活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の配膳の仕方を覚え、自分たちで準備や片付けができる。 	<p>「朝の会をしよう」(朝の活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事、健康観察、時間割の見通しを持ち、仲間と気持ちの良い一日のスタートをする。 <p>「言葉遣い」(学活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた言葉遣いを覚え、友達や先生と話すことができる。 	<p>「遊具の使い方」(学活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に遊ぶことを通し、校庭の遊具の使い方や約束を理解することができる。 <p>「ノートの使い方」(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科によってノートを使い分けることや書き込む手順を覚える。
5月	<p>「図書室の利用」(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の利用の仕方を理解し、好きな本を選んで借り、読書に親しむ。 	<p>「係活動」(学活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食やクラスの当番活動を仲間と協力して取り組むことができる。 	<p>「運動会」(行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ遊びを思い出しながら、運動会の徒競走の練習に取り組むことができる。
6月	<p>「汗の始末」(体育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汗をタオルで拭くことやこまめに水分を補給する意味を理解し、実行することができる。 	<p>「学校で働く人」(生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で働いている職員について、どのような仕事をしているのかインタビュー等をして理解する。 	<p>「一緒に歌おう」(音楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が知っている歌や手遊び等を友達に伝えながら活動を楽しむ。
7月	<p>「交通教室」(行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の道路や模擬道路での実地訓練を通して交通ルールを理解し、安全に登下校することができる。 	<p>「紹介しよう」(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や友達を紹介する作文を書き、家族や友達の良さに気付くことができる。 	<p>「季節を感じよう」(生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭や校園などの植物や生き物の観察を通し、季節の変化に気付くことができる。

※他教科等においても横断的に指導できるように配慮します。

1年生の生活科や学級活動などでは、小学校生活への円滑な移行を促すような学習活動が位置付けられています。スタートカリキュラムを実践するに当たっては、各教科や領域等の枠を超えて教育活動全体を見渡し、スタートカリキュラムと関連する教育活動を一覧表にまとめてみることから始めてみましょう。

5 保幼小接続期カレンダー



各研修会や交流会を通して人と人がつながる活動と幼児期から学童期へとつながる学びについて、接続期の1年間をイメージしてみましょう。

	保育士や教諭同士が つながる活動	幼児と児童、保護者同士が つながる活動	幼児期から学童期へと つながる学び
10月	<p>保幼小合同研修会を開催し、接続期の子どもたちの成長について幼児期の遊びや生活が小学校での学習や生活にどのようなつながっていくのか共通理解を図る。</p> 	<p>児童が幼児を招待して交流活動を実施する。</p> 	<p>小学校教諭が学区内の園（所）を訪問し、保育参観や意見交換会を実施して互いの保育や教育について理解を深める。 （カリキュラムの共有）</p> 
11月		<p>児童は活動後に感想を絵や文でまとめ、相手がどのように感じていたか等を視点としながら活動を振り返り、自身の生活や次の活動に生かす。</p> 	
12月	<p>保育所や幼稚園、認定こども園合同の研修会を実施し、保育を通して育てるべき子ども像や目標等について共通理解を図るなど、横のつながりも意識する。</p> 	<p>交流会の活動後に事後検討会を開催する。</p> 	<p>幼児にとって毎日の遊びも大切な接続期の経験となる。</p> 
1月			<p>自然との触れ合いを通じた遊びで命を感じ、さらには好奇心や探究心が芽生え、小学校入学後の生活や学習の基盤となる。</p> 
2月			
3月	<p>卒園（所）後に入学する小学校教諭との引継ぎをする。 子どもの成長の様子について共有する。</p> 	<p>4月に入学する小学校の授業を幼児が参観する。</p> 	

月	保育士や教諭同士が つながる活動	幼児と児童、保護者同士が つながる活動	幼児期から学童期へと つながる学び
4月	<p>卒園（所）後の様子を保育士や幼稚園教諭、保育教諭が小学校を訪問して参観し、実施後には意見交換会を行う。</p> 	<p>懇談会の機会に親同士の交流が深まる活動を実施する。</p> 	<p>幼児はチーム分けやルールなどを自分たちで相談し、折り合いをつけながら遊び、人とよりよく関わる力を身に付ける。</p> 
5月		<p>児童が幼児を招待して小学校の様子を紹介するなど、一緒に活動を楽しむ。</p> 	<p>幼児期の遊びが個人から集団の遊びへと移行していく姿は、小学校入学後の共に高め合う姿へと深化していく。</p> 
6月	<p>保幼小合同研修会で接続期や連携について意見交換し、課題や工夫について共有する。</p> 		
7月			
8月	<p>ワークショップでは、話合いの内容を模造紙にまとめ、グループ内、あるいはグループ間でも意見の交流をする。</p> 	<p>親同士の交流を通して学びの機会を提供する。 (家庭教育支援チーム)</p> 	<p>幼児期の経験を基に小学校では、課題解決に向けて仲間と対話をしながら学習を進めていく。</p> 
9月			

6 指導要領等における保幼小の接続に関する記載



接続に関する記載について各要領や指針を確認しましょう！



【保育所保育指針】平成 29 年告示

○第 2 章 保育の内容 4 保育の実施に関して留意すべき事項 (2) 小学校との連携

- ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第 1 章の 4 の (2) に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

【幼稚園教育要領】平成 29 年告示

○第 1 章 総則 第 3 教育課程の役割と編成等 5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【幼保連携型認定こども園教育・保育要領】平成 29 年告示

○第一章 総則 第 2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

1 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等

(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【小学校学習指導要領 総則編】平成 29 年告示

○第 3 章教育課程の編成及び実施 第 2 節教育課程の編成 4 学校段階等間の接続

(1) 幼児期の教育と接続及び低学年における教育全体の充実

(1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

以下〈小学校学習指導要領解説 総則編〉における記載

本項は、幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針（以下「幼稚園教育要領等」という。）に基づく幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性を示している。

小学校低学年は、幼児期の教育を通じて身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、児童の資質・能力を伸ばしていく時期である。幼稚園教育要領等においては、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から構成される資質・能力を一体的に育むように努めることや、幼児期の教育を通して資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿を幼児期の終わりまでに育ってほしい姿として示している。

この幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに幼稚園の教師等と子どもの成長を共有することを通して、幼児期から児童期への発達の流れを理解することが大切である。

小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが大切である。

その際、低学年における学びの特質を踏まえて、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育むことを目的としている生活科と各教科等との関連を図るなど、低学年における教育課程全体を見渡して、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるように工夫する必要がある。特に、小学校の入学当初においては、幼児期の遊びを通じた総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習等に円滑に接続されるよう、スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められる。

こうした幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連や、スタートカリキュラムの編成の工夫については、各教科等の章における指導計画の作成と内容の取扱いにおいても示されているところである。

7 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

〈保育所保育指針，幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領に記載〉

ア 健康な心と体

保育所（幼稚園及び幼保連携型認定こども園）の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

イ 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

ウ 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

エ 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことがわかり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながらきまりをつくったり、守ったりするようになる。

オ 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、保育所（幼稚園及び幼保連携型認定こども園）内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

カ 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

キ 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

ケ 言葉による伝え合い

保育士等（先生、保育教諭）や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

コ 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

これらは幼児が卒園（所）までに身に付けなければならない姿ではなく、幼児期から学童期へ連続している子どもの成長を見取る際の視点として捉えましょう。

前項で示したように、小学校学習指導要領にも「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての記載があります。



8 県内の取組紹介①

塩竈市の取組紹介

例1：アプローチカリキュラム 11P
例2：スタートカリキュラム 14P

Q1 保幼小接続期カリキュラムの作成に取り組むきっかけは？

塩竈市教育委員会では、学力向上や不登校、小1プロブレムの教育課題の改善に向け、保・幼・小・中の接続期の保育や教育に着目し、平成29年度から取組を始めました。



Q2 参考とした取組はあったのですか？

保育所と幼稚園のアプローチカリキュラムと小学校のスタートカリキュラムの作成に当たっては、文科省の指定を受けて先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考とし、塩竈市独自の工夫を加え、検討を重ねてカリキュラムを策定しました。

Q3 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

各小学校の代表1名ずつと幼稚園・保育所代表、市の健康福祉部の担当者等で作成委員会を年間4回開催し作成しています。

具体的な手順は、スタートカリキュラムを例にすると、

- ① 題材の一覧を作成（15P）
- ② 各小学校代表の作成委員で題材を分担し、A4版の活動案を作成（16P）
- ③ 接続期カリキュラム作成委員会を開催し、各委員が作成した活動案について検討
- ④ 検討を経た活動計画を集約して製本し、市内保育所（園）や幼稚園、小学校へ配布
※活用しての感想や修正点を市の担当者が把握し、次年度に生かしている。

Q4 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

市の担当者が幼児教育施設や小学校を訪問し、カリキュラムの活用の説明をしたり、改善点について把握したりするよう努めています。

Q5 取組の成果はいかがですか？

幼児や児童が安心して遊びや生活、学習に取り組む環境が整ったことで、よりよい成長をうながすことができた実感しています。学力向上や不登校問題、小1プロブレムの改善に手応えを感じています。

取組の時期や対象、内容等を示すことによって「いつ」「だれが」「どんなこと」をするのかについて説明しています。

塩竈市アプローチカリキュラムの活用にあたって

塩竈市教育委員会

1 活用のめやす 12月から翌年3月中～下旬



2 対 象 翌年4月に小学校に入学予定の幼児（5・6歳児）

3 内 容

- (1) 「生活」「遊び」「学び」「歌」「絵本の世界」の5つの内容から構成されています。
- (2) 「生活」「遊び」「学び」の内容は、これまでの各幼稚園・保育所（園）での生活や遊びの中で培われてきたものです。子どもたちが小学校生活に滑らかに移行できるように、入学までに意識して指導してください。
- (3) 目安として実施する月を示していますが、内容によっては、早い時期から指導を始めたり、繰り返し指導したりすることが効果的なものもあります。各幼稚園・保育所（園）の実態に応じて、柔軟に取り入れてください。
- (4) 「歌」「絵本の世界」は、幼児期に触れさせたい日本文化として、代表的な昔話や童謡、唱歌を紹介しました。折に触れ慣れ親しませてください。
- (5) カリキュラムの内容をすべて指導しなければならないというわけではありません。この内容と似ていることやアレンジしたこと、発展させたことを実践することで、活用の幅が広がります。実態に応じて、展開されることを期待いたします。

4 活 動 例

- (1) 1日の生活のどの場面で使えるか、そのチャンスを生かして実践してみてください。
- (2) 「歌」「絵本の世界」は、朝の挨拶の後や昼食の前（後）、お迎えを待つ時間帯などにも実践できます。
- (3) 曜日を決め、毎日この5つの内容の中の1つを実践したり、1日の生活時間帯に位置付け、1週間単位で実践したりするなど、いくつかの方法が考えられます。



カリキュラムの全体を示すことにより、見通しを持って準備ができます。また、特に意識して取り組みたい活動も把握しやすいように色分けしてあります。

塩竈市アプローチカリキュラム 目次

月	生活	ページ	遊び	ページ	学び	ページ
12	手洗い・うがいをしよう	1	とおりゃんせ	5	しりとり遊び	9
	歯を磨こう	2	はないちもんめ	6	しりとりすごろく	10
	衣服のきちんとした身支度	3	あぶくたつた	7	カレンダーってどんなもの	11
	上手な顔洗い	4	おにごっこ	8	クレヨンのお散歩	12
1	持ち物の整理をしよう	13	一本橋渡れ	18	いくつかな？	22
	靴の履き方・靴の揃え方	14	あんたがたどこさ	19	1分はどのくらい？	23
	挨拶の仕方	15	転がしドッジボール	20	すごろく遊び	24
	お箸の持ち方	16	ドリブルシュート	21	絵描き歌	25
	お箸の使い方	17			しりとり遊び	26
2	生活のリズムを整えよう	27	猛獣狩りに行こうよ	31	カルタ遊び	35
	朝ご飯を食べよう	28	おーちたおちた	32	椅子の座り方	36
	ごめんね、いいよ	29	絵づくり	33	伝言ゲーム	37
	おやつとり方	30	じゃんけん列車	34	文字とりゲーム	38
					時間について知ろう	39
3	帰りの時間	40	おしくらまんじゅう	44	鉛筆のお散歩	48
	好き嫌いをしない	41	だるまさんが転んだ	45	自分の名前を書こう①	49
	規則正しい食事	42	ハンカチ落とし	46	自分の名前を書こう②	50
	トイレの使い方	43	遊びのルールを作ろう	47		

※ ■ は、小学校との滑らかな接続のために、ぜひ取り上げていただきたい項目です。

	うた				
感性に働きかける	むすんで ひらいて	1	つき	9	豆まき
	ことりの歌	2	ゆりかごの歌	10	ゆき
	ぞうさん	3	犬のおまわりさん	11	山びこごっこ
	桃太郎	4	やぎさんゆうびん	12	うれしい ひな祭り
	シャボン玉	5	どじょっこ ふなっこ	13	七つの子
	夕焼け小焼け	6	うさぎとかめ	14	おさるのかごや
	かわいい かくれんぼ	7	かたたき	15	
	げんこつ山のためきさん	8	お正月	16	

※ うたの歌詞・楽譜は掲載しませんでした。



	絵本の世界		
豊かな心を育む	ねずみのすもう	花さかじいさん	きんたろう
	一休さん	かぐや姫	かさこじぞう
	さるかに合戦	かもとりごんべい	花さき山
	桃太郎	つるのおんがえし	くもの糸
	こぶとりじいさん	おむすびころりん	わらしべ長者



目次の中にある活動について詳しい流れを示すことで、幼児の活動や働きかけが分かりやすくなります。

学び

伝言ゲーム

2月

- ◎ ゲームを通して、聞いた話の内容を楽しく正しく伝える。(環境・表現・人間関係)
- 自分が聞いた話を、友達に伝えられた喜びを味わう。

子どもの活動	保育士・教師の働き掛け
1 場面設定を知る。 「これから宝島に宝探し (より身近でイメージ)	○ 場面設定は、子どもたちの実態や状況に応じて工夫する。

2 いくつかのチームに分か
【伝言ゲームのルール】
周りに聞こえないよ
・ 耳元で
・ 小さな声でささや
・ 最後まではっきり

1番目の子どもは保育
みんなの前で発表する。

3 1回目のゲームをする。
(ア) 伝言内容を知る。
(イ) チーム内で伝える
(ウ) 最後の子どもは、
(エ) 全員の発表が終
を発表する。

例)「明日、宝島へ探検は
ないでね」

4 全部覚えるにはどうすか

5 チーム内の並び順を替
例)「8時に保育所の園庭
て来てね」

6 感想を発表する。

学び

カレンダーってどんなもの

12月

- ◎ カレンダーを見て楽しみながら、数の並びや曜日の並びに目を向ける。(言葉・環境・表現)
- 数字や曜日に関心を持つ。

※ 新しい年を迎えるに際し、新しいカレンダーに関心を持たせる。

子どもの活動	保育士・教師の働き掛け
1 新しいカレンダーを見て、改 めてどんなものか知る。	○ 新しいカレンダーを見せる。
2 12月のカレンダーを見て、 1月は何日から始まるのか、理 由を知る。	○ あらかじめ、1～31までの数字カード、曜日カード(貼り付け用)を用意して おく。

【例】

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日

- 12月31日と1月1日がつながっていることに気付かせるように、カレンダーの数字を並べる。
- 楽しかった1年間を思い出して、カレンダーをなぞり、「また新たな1年を楽しく過ごそうね。」と言葉掛けをする。
- 3 1週間が7日間と意識させるために、日曜日から土曜日まで用紙の上に置かせ、確認し、貼る。
- 1週間が7日間であることに気付かせる。
- 「月火水木金土日のうた」を歌ってみるのも良い。
♪月曜日 笑ってる・・・
- 出席ノートを活用するとよい。
- 4 日曜、月曜、火曜、水曜・・・1週間を理解し、始まりの「1」を貼らせる。
- 数字は前の月の続きから始まることに気付かせる。
- 5 次の数字を正しく並べられたら、順々に数字を貼る。
- 曜日の並びは変わらず、固定されるが、数字は続いていく。
- 週・月・年をまたぐという意味を知る。
- 数字を貼り終わった子どもは、月にあった絵を描かせる。全て終了した子どもの作品を掲示し、達成感を味わわせたり、作製意欲を高めたりする。

※ 子どもの実態によっては、活動の1、2を軽めに扱うのもよい。その際、「カレンダーマーチ」の歌を歌うのもよい。



例2・塩竈市教育委員会スタートカリキュラム

小学校で日常的に活用されている週案の様式で1～4週目まで作成しています。

塩竈スタートカリキュラム 小学1年生4月週案モデル

第4週のテーマ：いよいよ時間割が始まるよ!～宿題も頑張ります～

日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日
曜	火	水	木	金	土
行事	家庭訪問	家庭訪問, 4校時限 交通安全教室	家庭訪問	憲法記念日	みどりの日
1	ならびっこ・かけっこ 様々な並び方ゲームと並 んだ順でか る。	好きなものはなに? 好きなものの絵を書いて	ならびっこ・かけっこ 様々な並び方ゲームと並		

塩竈スタートカリキュラム 小学1年生4月週案モデル

自校化の参考に
してください。

第1週のテーマ：初めまして、小学校!

日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
曜	月	火	水	木	金
行事	入学式	3校時限	3校時限	3校時限	4校時限
1		初めての学級 学校, 教師の名前, 自分 の座席などを覚える。	元気に挨拶 挨拶や返事, 健康観察の 仕方を覚える。	楽しく歌おう 幼稚園や保育所で歌った 歌でリズム体操などを行 う。	自己紹介をしよう 自分の名前と好きなもの などをみんなに紹介す る。
2		使い方を知ろう 靴箱, トイレ, 連絡袋な どの使い方を覚える。	使い方を知ろう 机や椅子, 引き出し, ロッカーなどの使い方を 覚える。	好きな遊び 幼稚園や保育所で行って いた遊びを行う。	名刺を作ろう 自分の名前や好きなもの を書いて名刺を作る。
3		簡易給食 手を洗っていただきます 下校指導 同じコースで自己紹介	簡易給食 いただきます 下校指導 安全な下校の仕方	簡易給食 いただきます 下校指導 安全な下校の仕方	好きな遊び 校庭の遊具の使い方を知 り, 楽しく遊ぶ。
4		生活0.5 学活0.5	生活0.5 学活0.5	体育0.5 音楽0.5	生活0.5 国語0.5
5		生活0.5 学活0.5	生活0.5 学活0.5	体育0.5 音楽0.5	国語1
給食					いただきます
清掃					
5	入学式 入学式に参加し歓迎の言 葉を聞く。				
下校	14:45	11:30 下校指導	11:30 下校指導	11:30 下校指導	13:15 下校指導

- 【4週目の留意事項】
- 今, 子どもは
 - 教科学習に落
 - 話の聞き方など)
 - 休日や早い時
 - 交通事故が最

- 【1週目の留意事項】
- 一人一人が安心感を持ち, 新しい人間関係を築いていくことをねらいとした時間を中心に指導する。
 - 子どもがほっとする時間や空間を意図的に設ける。
 - 学校生活の中で, 絶対必要な場所やルール, 危険な場所, 安全な遊び方を教える。(トイレ, 水道, 個人の机, ロッカー, 靴箱, 物掛け, 傘立て, 校庭への行き方, 遊具の安全な遊び方など)
 - 子どもの興味や困り感を引き出す声掛けや環境構成を通して, 子どもたちが「自分たちがしたいからしている」と思える流れを作る。子どもの主体性や意欲, 自発性を大切にした指導を行う。「園ではどうしてた?」「どうしたらいいと思う?」などと問いかけ, 子ども自身が考える場を作り, 子どもの出方を待つことを心掛ける。

カリキュラムの全体を示すことにより、見通しを持って準備ができます。また、特に意識して取り組みたい活動も把握しやすいように色分けしてあります。

塩竈市スタートカリキュラム 目次

No.	題 材	内 容	No.	題 材	内 容
1	呼ばれたら「はい」とお返事	学習	19	避難訓練の前に	学習
2	いろいろな挨拶	生活	20	筆箱の中身	学習
3	学習道具の出し方・しまい方	学習	21	言葉遣い	学習
4	廊下・階段の歩き方	生活	22	発表の仕方と声の大きさ	学習
5	靴の揃え方・傘の置き方	生活	23	ありがとう ごめんなさい	生活
6	上靴の履き方	生活	24	水道の使い方	生活
7	トイレの使い方	生活	25	ハンカチ・ティッシュ・つめ	生活
8	掃除の仕方	生活	26	ぞうきん・ほうき・バケツ ①	生活
9	話の聞き方・並び方	学習	27	ぞうきん・ほうき・バケツ ②	生活
10	学習のいろは	学習	28	いろいろな結び方	生活
11	給食の準備・食事・片付け	生活	29	休み時間の過ごし方	生活
12	着替えと片付け	生活	30	友達をつくろう ①・名刺交換	学習
13	プリントのしまい方	生活	31	友達をつくろう ②・一緒に遊ぼう	学習
14	鉛筆の持ち方	学習	32	友達をつくろう ③・ごめんね	学習
15	ならびっこ	学習	33	友達をつくろう ④・また今度ね	学習
16	遊具遊び	生活	34	友達をつくろう ⑤・お助けマン	学習
17	下校班の並び方	生活	35	みんなが集まる場所は、シーン	学習
18	下校の歩き方・横断歩道の渡り方	生活			

- 本カリキュラムは、幼稚園・保育所（園）と小学校との滑らかな接続を目的として、小学校生活を始めるに当たって、ぜひ身に付けさせたい内容を示しています。
- 各校の実態に応じて、内容をアレンジしてご指導ください。
- 一つの項目を必ず1単位時間で指導するものではありません。内容によっては、数回に分けて指導した方がよいものがあります。入門期の児童は、短時間の指導を繰り返し行った方が効果的な場合が多いことに留意して活用してください。



目次の中にある活動について詳しい流れを示すことで、児童の活動や働きかけが分かりやすくなります。

33 友達をつくろう④・また今度ね

友達に誘われたときに、上手に断る方法について理解する。

子どもの姿・活動内容	教師の関わり
1 教師の話聞き、どうしたらよいのかを考える。	① 友達に「家に帰ったら、遊ぼう。」と誘われたが、今日はおばあちゃんの家に行くことになっているので遊べない。

- ・ 断る。
- ・ 「今日はだめ」と言う。
- ・ 「少しならいいよ」と言う。
- ・ 「いいよ」と言う。
- ・ お母さんに断ってもらう。

2 自分の気持ちをはっきり伝えるにはどう言うのがよいのか。どのように断ると、友達に嫌な感じを与えないかを考える。

3 二人組になり、「断り方」を実際にやってみる。

4 どんな気持ちだったかを話し合う。

28 いろいろな結び方

自分の身の回りでひも結びのあるものを見付け、その結び方ができる。

子どもの姿・活動内容	教師の関わり
1 ひもで靴ひもやリボンを結んだことがあるか振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 靴ひも ・ プレゼントのリボン ・ その他 	○学校生活で活用の頻度が高い靴ひもと鉢巻を取り上げ、できるようにさせたい。 
2 ひもなどがほどけないように上手に結ぶ練習をする。 (1) 固結び	○はちまきを一人1本ずつ配る。この鉢巻で3種類の結び方を練習する。 【固結びの仕方の例】 ① 椅子の横の部分を使う。 ② 鉢巻を横にぐるっと回す。 ③ 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ④ ねじれをよく見ながら、同じように結ぶ。 *何度か練習する。
(2) 片リボン結び 	【片リボン結びの仕方の例】 ① 椅子の横に鉢巻を巻き付ける。 ② 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ③ ねじれをよく見ながら、片方に輪（うさぎさんの耳を作る）その輪の周りをぐるりと通し、引き抜いて結ぶ。
(3) リボン結び	【リボン結びの仕方の例】 ① 椅子の横に鉢巻を巻き付ける。 ② 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ③ ねじれをよく見ながら、片方に輪を作り、その輪の周りをぐるりと通し、引き抜く時に同じように輪を作り引いて結ぶ。 (例 いすの他にもいろいろ考えられる。) 
3 結ぶ練習をする。	* 1回では難しいが、何回か練習していくうちにできるようになる。ほどくときは片方を引っ張ると、簡単にほどけることも教える。
4 縄跳びのひもを束ねて結ぶ。 	【跳び縄の束ね方】 ① なわを両手で持って輪っかを作りながら、端っこを上の方で交差させる。 ② 交差した端っこのどちらかを輪っかに入れる。 ③ 『うさぎの顔を作って耳を顔(輪っか)に通す』と教える。 * 手で持った状態で結ぶことが困難な場合は、床に置いて結び方を教える。 

8 県内の取組紹介②

白石市の取組紹介

例1：アプローチカリキュラム 18P
例2：スタートカリキュラム 19P

Q1 接続期カリキュラムの活用にいつから取り組んでいますか？

白石市教育委員会では、平成24年から取り組んでいます。それぞれ特色のある活動を工夫し、深谷小では朝の活動「すくすくタイム」を設定して活動しています。



Q2 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

白石市内の各園の園長と各小学校の校長、それから実務担当として各園や小学校にいる保幼小連携担当教諭が構成員となり、作成会議を開催し、検討を経て作成しています。

Q3 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

市内の各小学校長と幼稚園長がカリキュラム作成会議の構成員となっているため、周知が行き届く利点があります。また、各保育園と各幼稚園、各小学校に担当者がいるため窓口が明確となり、足並みのそろった取組が期待できます。

Q4 各園（所）のみなさんからどのような声が寄せられていますか？

～アンケート等では、次のような意見がありました。～



「幼児期から相手の話の聞き方を意識させ、聞き方を育てることで話す力も育つのではないかと。聞く力が話す力につながることを意識できた。」



「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿の観点が小学校入学後も引き継がれ、子どもが成長するためにも、保幼小の連携をどのような形で行うのがよいのかこれからも考えていきたい。」



「小学校入学後は集団がより大きくなるので、入学直後だけではなく、もっと長い期間で接続期を捉えて考えていきたい。」



「年長になると自分で考え、判断することもできるようになっている。保幼小の連携推進委員会やカリキュラム作成の検討会において、幼児期の生活経験や成長について共通理解を図りたい。」

例3・白石市教育委員会アプローチカリキュラム

カリキュラムの時期と保育内容、保幼小の交流や連携について一覧表にまとめてあり、全体がつかみやすくなっています。また、カリキュラムの中段には保育所と幼稚園の共通の遊びも示されており、横のつながりも意識されています。

アプローチカリキュラム		白石市接続カリキュラム作成委員会		
月	10月～12月	1月～3月	小学校生活	
予想される子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分で色々なことに取り組もうとする気持ちを持ち、喜んで挑戦したり試したりする姿が見られる。 自分の考えを出し話し合う中で、うまく気持ちが伝わらずトラブルになることもあるが、自分で解決できる時もある。 友達と共通の目的やイメージを持ち、工夫して遊ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学への期待が高まり、生活や遊びに意欲的に取り組む一方で不安を感じている子もいる。 お互いを認め合い、集団の一員として役割を果たすようになる。 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びを意欲的に行う中で、満足感を味わい自信をもつ。 友達と共通の目的を持ち、自分の力を発揮しながら協力して達成することの喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活に必要な決まりを守り、就学に期待をもちながら見通しや目標をもって生活する。 友達と協力したり、創意工夫して遊ぶ中で、自分の力で行動する充実感を味わう。 		
保育内容	<p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りのことは自分でする。 食事の準備や片付けをする。 服を着替えたり、たたんだりする。 <p>トイレや手洗い場をきれいに使う。</p> <p>持ち物の始末や整理をする。</p> <p>遊びの準備や片付けをする。</p>			
	<p>遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする。 生活に必要な会話をする。 人前で話をする。 絵本、紙芝居、童話、素話などを見たり聞いたりする。 見通しをもって生活をする。 時計を見て時間を意識する。 <p>時間内に身の回りのことをする。</p> <p>(屋食、着替えなど)</p> <p>* 小学校の生活時間に近づける。(屋食時間、午睡時間)</p>			
幼と保共通の遊び	<ul style="list-style-type: none"> 手あそび「大きくなつたら何になろう」「はちべえさんとじゅうべえさん」 ふれあい遊び「猛獣狩りに行こう」 お話「戻ったれ嫁ご」「三枚のお札」 	<ul style="list-style-type: none"> 歌「1年生マーチ」「春がきたんだ」 ゲーム「ジャンケン列車」 	<ul style="list-style-type: none"> 体操「白ろうめん体操」 鬼ごっこ「手つなぎ鬼」 	
行事	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査 就学時健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> 一日入学 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校との連絡会 	
幼保小交流にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生に親しみをもち、一緒に遊ぶことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校への憧れや期待感をもつ。 		
内容	<p><一緒に遊ぼう！></p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生が作った物や遊びのコーナーで遊ぶ。 幼稚園や保育園で小学生と遊ぶ。 	<p><小学生ってすごいな！></p> <ul style="list-style-type: none"> 学習発表会を見学する。 	<p><学校ってどんなところ？></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業見学、参加などをする。 学校探検をする。 給食を見学する。 	
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の様子を見守りながら、様々な活動を通して1年生に憧れの気持ちを抱いたり、一緒に遊ぶことを楽しいと感じられるような援助をしていく。 学区毎の就学時健康診断を終え、就学に対して気持ちが向き始める時期なので、その気持ちを大切に受け止めながら活動への参加を促していく。 幼稚園と保育園との交流を図り、地域の友達に親しんでいけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活を実際に体験することで、小学校生活へのイメージをもてるようにしたり、不安を取り除き安心感をもてるようにする。 保育園・幼稚園と小学校の生活の違いを保護者に知らせ、不安なく就学を迎えられるようしていく。(食事、トイレ様式の違い、通学路の確認など) 		

例4・白石市教育委員会スタートカリキュラム

小学校で日常的に活用されている週案の様式で1～4週目まで作成しています。

第4週 平成25年4月29日(月)～5月3日(金)					
【今週のねらい】		『すすんでがんばろう』 学校の生活リズムが少しずつ身に付き、当番活動にも意欲的に取り組むことができるようにする。			
	29日(月)	30日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)
朝	週案タイプ モデルプラン				
1	第1週 平成25年4月9日(火)～4月12日(金)				
	【今週のねらい】		『はじめまして 学校』 1年生になったことを喜び、楽しく過ごすことができるようにする。		
	日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
朝					
1			音楽 手遊びをしよう 歌で友達をつくろう スタート学活 元気な返事やあいさつ 学習道具の出し入れ	音楽 手遊びをしよう 歌で友達をつくろう 学活 学習道具の出し入れ プリントのもらい方・渡し方・片付け方	音楽 手遊びをしよう 歌で友達をつくろう
2			学活 1年生になったよ トイレ・靴箱・ロッカーの使い方	生活 みんなががっこうにあるこ 校舎内を先生と歩いて 回り、学校の中の施設 に興味をもとう	生活 がっこうのことがし りたいな 小学校にはみんなで 楽しく安全に生活を 送るためのルールが あることを知ろう
3			生活 がっこうにいこう 登下校時のあいさつ・交 通安全のルール	生活 がっこうにいこう 登下校時のあいさつ・交 通安全のルール	学活 帰りの用意の仕方 コースごとに整列 安全な歩き方 下校指導
4			学活 帰りの用意の仕方・コース ごとに整列・下校指導	学活 帰りの用意の仕方・コース ごとに整列・下校指導	
5					
配 当 時 数			生活0.5 音楽0.5 学活2	生活1.5 音楽0.5 学活1	生活1 音楽1 学活1
【指導上の留意点】 ○話を聞くときの姿勢を確認 ○全員の前で話すことに慣 ○運動会に向けて集団行動 ○授業の終わりには次の学 ○図書館の使い方や本の読 ○休み明けて落ち着かない 雰囲気づくりに努める。 ○交通事故に十分気をつけ					
【指導上の留意点】 ○毎朝教室で児童を迎え、困っていることはないか話を聞くなど、安心して生活できるよう声がけする。 ○他の保育園や幼稚園などから来ている児童の仲間づくりがうまくいくように見守る。 ○配布物を後ろに渡すときには「はいどうぞ」と言って渡し、「ありがとう」と言って受け取ることを教える など友達と関わりがもてるようにする。 ○椅子の座り方、立ち方、拳手の仕方、発表の仕方など学習の基本的な習慣を教えるようにする。 ○下校班、学童保育利用児童の把握、下校時の並び方、下校指導の協力体制などを事前に確認する。 ○トイレの使い方・靴箱の使い方・手洗いの仕方・机やロッカーの整理の仕方の絵を提示して説明する。 ○教室が明るく楽しい雰囲気になるように飾り付けを工夫し、学校生活に期待がもてるようにする。 ○入学後の3日間が新入学児童にとって学校は楽しい場所であると感じてもらえる大事な期間であるので、特に 朝の活動や1時間目等で手遊びや歌遊び、ゲーム、読み聞かせなどを取り入れ、居心地の良い良い空間 作りに努める。 ○音楽では幼稚園や保育園で歌った歌や手遊びを取り入れ、なめらかなスタートがきれるようにする。 ○学年全体での活動を設定することで、友達づくりに対する不安を解消するとともに、複数の目で見守る体制を つくる。(少人数担当・七学年担当にも入ってもらう)					
生活科大単元「どきどき わくわく 1年生」と合科的・関連的指導をする					

児童の学校生活や学習を月単位で見通し、留意点についてまとめています。

5月 マンスリープラン

【今月のねらい】

- 学校生活を楽しみながら、時程に沿った生活ができるようにする。
- 運動会の練習に進んで参加することができるようにする。

【指導上の留意点】

- | | |
|-----|--|
| 始業前 | <ul style="list-style-type: none"> ○連休明けには、教室で児童を迎えあいさつを交わしたり声をかけたりする。 ○自分からあいさつができていない児童をほめるようにする。 ○連絡帳やプリントなどの提出の仕方を継続して指導する。 |
|-----|--|

- | | |
|-------------|---|
| 朝の活動
朝の会 | <ul style="list-style-type: none"> ○読み ○朝の ○初め よう |
|-------------|---|

- | | |
|--------|---|
| 学習等の活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○発表 がで ○グル れ合 ○ひら ○生活 など ○4月 えな ○アサ 工夫 ○すは |
|--------|---|

- | | |
|------|---|
| 休み時間 | <ul style="list-style-type: none"> ○時間 を結 ○休み ○遊ん ○休み ○けん |
|------|---|

- | | |
|------|---|
| 給食時間 | <ul style="list-style-type: none"> ○給食 ○衛生 ○アレ ○食事 ○嫌い |
|------|---|

- | | |
|------|--|
| 清掃時間 | <ul style="list-style-type: none"> ○掃除 どが ○清掃 |
|------|--|

- | | |
|------|--|
| 帰りの会 | <ul style="list-style-type: none"> ○プリ ○週末 ○一人 ○運動 下校 |
|------|--|

- | | |
|-----|--|
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○運動 ○授業 もに うに |
|-----|--|

6・7月 マンスリープラン

【今月のねらい】

- 学習ルールを身に付け、落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。
- 交友関係や行動範囲を広げることができるようにする。

【指導上の留意点】

- | | |
|-------------|--|
| 始業前 | ○始業までの過ごし方、連絡帳等の提出、トイレや水道の使い方の指導を継続する。 |
| 朝の活動
朝の会 | <ul style="list-style-type: none"> ○元気よくあいさつができていない児童をほめ、その良さに気付かせる。 ○朝の会の進行の仕方を継続して指導する。適切な声の大きさと話している児童をほめ、人前での話し方について知らせる。 ○話をしている人に体を向けて聞くことができるように声がける。 ○蒸し暑さ等でだるさを感じる児童に対して、健康状態をしっかり把握する。(健康観察時の表情・基本的な生活習慣のチェック・早寝早起き朝ご飯の奨励) |
| 学習等の活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○ひらがなや10までの数について読んだり書いたりできているか一人一人の実態把握に努める。 ○児童のノートと同じマス目の黒板を使うなど、児童がどこに何を書けばよいのか分かるようにしてノート指導を行う。 ○授業中の発表のルールを徹底して指導する。 ○鍵盤ハーモニカや絵の具セットの出し方や片付け方、整理の仕方を指導する。 ○水泳学習への興味を高めるとともに、水着の着替え方や水泳後の衣類の後始末の仕方を教室で練習させる。 ○順番やルールを守って活動している児童をほめ、進んで守ろうとする態度を育てる。 ○行動範囲の広がりとともにトラブルも増える時期なので、互いの話をよく聞くとともに、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えることができるように指導する。また、攻撃的な口調で友達に接している児童には適切な言葉づかいができるように指導する。 ○友達といっしょに活動したり協力したりする楽しさが分かり、安心して学級の中で活動に取り組めるようにする。 |
| 休み時間 | <ul style="list-style-type: none"> ○外で遊ぶ機会が増え、けがが増える時期でもあるので、けがをした場合にどのように行動すればよいか指導し、実行できるようにさせる。けがをした場合には教師間で情報を共有し、家庭にも連絡する。 ○雨の日の過ごし方について考えさせ、学校のルールを守れるように声がける。 ○トイレは休み時間のうちに行くように継続して声がける。 |
| 給食時間 | ○マナーを守って残さず食べられるように声がける。 |
| 清掃時間 | <ul style="list-style-type: none"> ○ほうきの使い方や机と椅子の運び方、床のふき方などをどの児童にも体験させ、教師も共に働きながら丁寧に指導する。 ○清掃分担を確認するとともに、清掃後のうがいと手洗いを確実にを行うように指導する。 |
| 帰りの会 | <ul style="list-style-type: none"> ○忘れ物をしないよう、次の日の学習予定や持ち物を確実に伝える。 ○通学路を通って下校しているかどうか確認し、飛び出したり危ない歩き方をしたりしないよう下校するよう声がける。 ○「いかのおすし」の合言葉などを使って安全指導に努める。 ○週末に持ち帰るもの(白衣や上履き、運動着など)の確認をする。 ○毎日の学校生活が楽しいと感じているかチェックし、次の日の指導に生かす。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○本格的に学習が展開される時期であり、得意・不得意の感情が起こりやすくなるため保護者との情報交換を密にする。 ○音読に重点を置き、学校だけでなく家庭での練習にも進んで取り組めるよう指導方法を工夫する(がんばりカードなど)とともに保護者からの協力も得る。 ○宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が目立つ児童の保護者と連絡をとり、忘れ物をしないよう家庭での声かけをお願いする。 |

マンスリープランで示されている「学習等の活動」について具体的な教科等で詳しく示しています。

道徳 図工	『べんきょうがはじまりますよ』 ○決められた時刻を守ることを大切さを知り、時刻を守ろうとする態度を養う。 『なかよくなりたいな③』 ○作った名刺に好きな絵をかくて楽しみ、友達と見せ合うことができる。	道0.5 図0.5
生活	『なかよくなりたいな④』	生1

算数	白石市スタートカリキュラム 単元名「どきどき わくわく 1年生」(全19時間) [実施時期 4月]	
----	--	--

道徳 体育	目 標 ○1年生になった喜びを感じ、学習や活動に進んで取り組もうとしながら、楽しく小学校生活のスタートをきることができるようにする。 ○友達や上級生、先生方と積極的に関わり親しみを感じることができるようにする。	
----------	---	--

教科名	主な活動・ねらい	時 数
生活 学活	『がっこうにいこう①』 ○登下校のことを話し合ったり、教科書で確かめたりして、登下校時のあいさつや交通安全上のルールなどの必要性に気付くとともに、毎日の登下校時の通学路の様子や人々との関わりに関心をもつことができる。	生0.5 学0.5
生活	『みんなががっこうをあるこう①』 ○担任の先生と一緒に校舎内を歩いて回り、学校の中の施設に興味・関心をもつことができる。	生1
生活 学活	『がっこうにいこう②』 ○登下校のことを話し合ったり、教科書で確かめたりして、登下校時のあいさつや交通安全上のルールなどの必要性に気付くとともに、毎日の登下校時の通学路の様子や人々との関わりに関心をもつことができる。	生0.5 学0.5
生活	『がっこうのことがしりたいな』 ○学校の1日のことについて話し合ったり確かめたりして、小学校にはみんなで楽しく安全に学校生活を送るためのルールや生活習慣があることに気付くとともに、これからの小学校生活への意欲をもつことができる。	生1
生活 音楽	『なかよくなりたいな①』 ○知っている手遊びを紹介してみんなで楽しく遊んだり楽しく歌ったりして、クラスメートと友達になることを通して、これからの小学校生活や教科学習への意欲をもつことができる。	生0.5 音0.5
国語	『名前を書いて みんなにおしえよう』 ○正しい鉛筆の持ち方を理解し、掲示用カードに自分の名前を書くことができるようにする。鉛筆の持ち方に気を付けながら、カットの絵に色鉛筆で色を塗ることができるようにする。	国1
生活 図工	『なかよくなりたいな②』 ○友達や先生と笑顔で自己紹介したり楽しく握手したりすることができる。 ○友達となかよくなるために名刺カードを作り、作った名刺に好きな絵をかくて楽しむことができる。	生0.5 図0.5

朝の教育活動「すくすくタイム」の取組をしています。

白石市スタートカリキュラム朝の活動 「すくすくタイム」(深谷)

□ねらい : スムーズに学校生活に慣れることができる

□ポイント : 幼児期からのつながりある活動 (別表参照)
 担任以外の人材活用 (7学年, 保護者, ボランティア)
 校内施設の利用 (体育館, 図書室, 校長室, 理科室, その他)

□実 際 : 手遊びやわらべうた
 読み聞かせ
 集団行動等約束事の指導

□確 認 :

- ①手遊びやわらべうたを行った (手遊び→ わらべうた→)
- ②うーめん体操をした (回数→)
- ③読み聞かせをした (題材→)
- ④担任以外の人材を活用した (誰→)
- ⑤教室以外の場所を活用した (場所→)

	月曜日 (読書)	火曜日 (朝会)	水曜日 (国語)	木曜日 (運動)	金曜日 (算数)
第1週			朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ
第2週	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ	全校朝会 朝のあいさつ 健康観察 (返事)	朝のあいさつ 健康観察 (返事) みんなで歌おう ・幼稚園・保育園 で歌った歌を楽しく歌おう	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 室内ゲーム 白石うーめん体操	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ
第3週	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ	全校朝会 朝のあいさつ 健康観察 (返事)	朝のあいさつ 健康観察 (返事) みんなで歌おう ・幼稚園・保育園 で歌った歌を楽しく歌おう	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 室内ゲーム 白石うーめん体操	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ
第4週	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ	全校朝会 朝のあいさつ 健康観察 (返事)	朝のあいさつ 健康観察 (返事) みんなで歌おう ・1年生を迎える 会で歌った歌や 校歌を歌おう	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 室内ゲーム 白石うーめん体操	朝のあいさつ 健康観察 (返事) 読み聞かせ

〈アプローチカリキュラム〉編



Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
	計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしている。	
Do	取組のねらいに応じて環境を構成した。	
	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度（次回）に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。	

〈スタートカリキュラム〉編



Plan	計画案にねらいが明確に記されている。	
	幼児期の経験を踏まえた計画となっている。	
Do	活動のまとめで子ども自身の変容や気づきを共有した。	
	打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。	
Check	事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。	
	活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。	
Action	課題に対する対応策について検討した。	
	次年度（次回）に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。	